

## 資料 2

西東京市公民館運営審議会  
令和5年度第9回定例会

## 令和5年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和6年2月21日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	柳沢	地域づくり未来大学 私たちがつくる「まちの顔」 ～柳沢駅南口ロータリーの活用 を考える～	9月23日から 12月9日 土曜日 10時から12時15分 全6回	延べ122人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年継続講座の最終の今年は実践編として、地域の課題として上がっている具体的なテーマ（柳沢駅南口ロータリーの活用）を提示し、市民同士の話し合いから自分たちにできる活動を考えて。</li> <li>・講座前半は「まちづくり」の専門家から講義を受け、各地の事例を学んだ。後半は同じアイデアの者同士がグループとなりプランを作成して全体の中で発表した。</li> <li>・講座の報告として、グループのプランをロビーで展示発表した。</li> </ul>	市川望美（非営利型株式会社Polaris取締役ファウンダー） 中村晋也（ヤギサワベース） 薩川良弥（空き家をスナックする会主宰、合同会社パッチワークス 代表） 田中美帆（株式会社cocoroé ソーシャルデザイン・ディレクター、多摩美術大学「ソーシャルデザイン論」講師） 児島秀樹（グッドモーニング調布！代表）
2	田無	小学生親子講座 落合川の観察会と壁面水族館づくり	7月16日 日曜日 7月17日 祝日・月曜日 10時から12時 全2回	延べ34人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東久留米・川クラブのメンバーからガイドを受けながら、親子で水棲生物の採集を行い、身近な小川に生息する川魚など水棲生物について学習した。</li> <li>・田無公民館のロビーの壁面に、採集した水棲生物などの拡大写真等を川クラブメンバーのガイドを受けながら親子で飾り壁面水族館を製作した。川の魚のぬり絵もして飾った。</li> </ul>	豊福正己（東久留米・川クラブ）

3	田無	小学生親子夕方講座 将棋が好きな小学生あつまれ♪ ～親子で将棋をプロから楽しく 学びます！～	10月19日から 12月7日 木曜日 16時10分から18時 全6回	延べ255人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大盤での講義、指導対局、受講者同士の対戦など。</li> <li>・親子で「将棋」の楽しさ面白さをさらに知ること、親子の共通の楽しみ「将棋」で、会話もコミュニケーションも弾む親子になった。</li> <li>・「将棋」を通じて、物事について静かに落ち着いて考える力や、「集中力」を養った。</li> <li>・研究したり、反省したり、分析したりする力を養い、負けた時には特に、なぜ負けたかを研究・反省することによって、次の勝利を目指した。</li> </ul>	藤森奈津子(日本女子プロ将棋協会女流四段。プロ棋士藤森哲也五段の母。ふじもり将棋教室講師。母と息子が共にプロ棋士なのは将棋界でも藤森親子1組のみ)
4	谷戸	くらしを彩る講習会	(1)10月20日 金曜日 ①10時から12時30分 ②13時から15時30分 (2)11月17日 金曜日 10時から12時 (3)12月15日 金曜日 10時から12時 (4)12月23日 土曜日 ①10時から12時 ②13時から15時 6回	延べ58人	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ステンドグラスで作るアクセサリ</li> <li>(2) コーヒー豆の話と美味しい珈琲の淹れ方</li> <li>(3) ポーセラーツで食器に上絵付け</li> <li>(4) そば打ち体験</li> <li>・各回、それぞれ自分の作品や、作った物について感想や工夫したところ、難しかったところなどを自由に発表し、講師から講評してもらった。</li> <li>・互いの作品について話したり写真に撮り合ったりし、交流の時間を持った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本保佐季子 (ステンドグラス作家)</li> <li>(2) 熊田尚子 (ChanQ Coffee オーナー、GRN公認焙煎士)</li> <li>(3) 大石菜美 (ポーセラーツ講師)</li> <li>(4) 小松文枝 (日本そば打ち名人会、清瀬教室主宰)</li> </ul>

5	ひばりが丘	子育て中の女性のための講座 「未来のタネ」がきっと見つかる ～夢がかなう子育てのヒント～	令和5年9月29日から 令和6年1月19日 金曜日 10時から11時45分 全14回 ※保育説明会 9月22日	延べ147人	女性の生きづらさ、働きづらさに対する支援者である講師らによるさまざまなワークショップ・話し合い学習を通して、自己変容、社会変容の一步を踏み出すための自己教育の意識と手法を学んだ。アートセラピー、グリーフケア（傷つきや喪失の回復）、ソマティックエクスペリエンス（身体感覚を通じたトラウマ解消）、人権に主眼を置いた幼児教育などの体験や学びを通して、自分自身、自分と家族、自分と社会の関係や構造についてふり返り、女性どうしの「共感」にとどまらず、一人一人が家庭や地域・社会を変ええる力を持つ主体であるという気づきを得た。	清水陽子（アドラー心理学・親子関係講座SMILEリーダー） 西山さつき（NPO法人レジリエンス代表） 小笠原舞（合同会社こどもみらい探求社共同代表、asobi基地代表） 藤田奈津子（asobi基地事務局） 西村直人（音楽療法士、NPOえほんうた・あそびうた代表） 高橋真友子・時得有紀（カモミール） 城田美好（保育士・早稲田大学大学院博士課程） 斎藤梨津子（養育里親・早稲田大学大学院博士課程）
---	-------	--	--	--------	---	--